

十日町市立十日町中学校

丘辺に建てる学び舎

学校ホームページ 二次元コード→



令和8年

10月5日号

Tel

757-2306

心を想像する

校長 山本 平生

晴天とグラウンドコンディションの回復を待って、1日延期となった9月18日(金)、十日町中学校二軍対抗体育祭が開催されました。赤豹軍、白虎軍ともに全力を尽くした体育祭。平日開催にも関わらず、大勢の保護者の皆様、地域の皆様からお越しいただき、温かいご声援をいただきました。ありがとうございました。

生徒は5連休を経て、定期テストに臨み、10月22日(木)に開催される合唱コンクールへと取組が進んでいきます。ご家庭での励ましが生徒のやる気につながります。どうぞよろしくお願いいたします。

先日の全校朝会で童謡「七つの子」を話題にしました。(♪ からす なぜなくの からすは 山に かわいい七つの子があるからよ ♪ かわい かわいと からすは なくの かわい かわいと なくんだよ ♪ 山の 古巣へ いってみて ごらん まるい 目をした いい子だよ♪) 老若男女を問わず、子を思う親心にどこか懐かしい気持ちにさせられる歌です。

全校朝会では、「七つの子の“七つ”とは？」七羽の子がらす？ 七歳の子がらす？という問いかけから始まり、同じ事柄を見ても、それをどう見るか、どう受け止めるかによって、そこから得るものは大きく変わる。取り組んだことから何を受け止めたかを意識して、次に生かしていったほしいと話をしました。

この歌をめぐる、2009年に亡くなった俳優の森繁久彌のこんなエピソードが伝えられています。

森繁久彌さんが目の不自由な子どもたちの前で「七つの子」を歌っていた。♪ 山の古巣へ 行ってみて ごらん・・・♪ と歌ったところで、森繁さんの表情が一瞬こわばった。歌詞を忘れてしまいギクリとしたような顔だった。歌は、一瞬タイミングの遅れはあったものの、♪まるい 顔した いい子だよ♪ と歌われたのである。

このエピソードは、森繁久彌が歌詞を間違えて歌ったとも、目の不自由な子どもの心情を慮り、とっさに歌詞を変えたとも捉えられる話です。しかし私は、目の前にいる人の気持ちを想像し、とっさに歌詞を変えたのではないかと受け止めたいと思います。

私たちは、身の回りで起こる出来事を見聞きしても、その素晴らしさに気づかなかつたり、大事なことを見過ごしていたりすることがあります。特に自分には関係ないと思った瞬間に、目の前にあるものを見落としてしまうこともあります。

とっさに歌詞を変えた森繁久彌の行動。そして、その行動の意味に気づいた人。そこには、目の前にいる人の心を想像するという共通点があります。

相手の立場に立つとは、相手に言われてから考えるのではなく、自分の言葉を発するその瞬間に相手のことを想像することなのではないかと考えさせられます。

この秋、みんなで力を合わせて取り組むことがたくさん予定されています。合唱コンクールでは隣の人の声を聴くことも、自分の声を届けることも大切です。様々な取組を進める中で、目の前の人の心情を想像し、そのときにできる最良の行動をする、そんなことを意識して進めていってほしいと願います。

それが、「あけびお」の「お(おもいやり)」を形にする一つの姿だと思います。

二軍対抗体育祭 大成功！



18日（金）、晴天の中、体育祭が大成功のうちに、無事終了しました。

「覚醒～呼び覚ませ十中魂～」のスローガンのもと、両軍ともリーダーを中心によく団結し、白熱した競技と応援を展開してくれました。雨天が続き十分な練習が行えない日が多くありましたが、全校生徒が体育祭を成功させようと、一人一人がしっかり役割を果たし、一体感のある体育祭を創り上げてくれました。体育祭を通じて様々な場面で十中生の成長する姿を見ることができて、とても嬉しかったです！

最後に、雨天順延かつ平日の開催にもかかわらず、生徒の応援に来ていただいたご来賓・保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました！

【結果】

競技の部	優勝	白虎軍
パネルの部	優勝	赤豹軍
応援の部	優勝	白虎軍
総合優勝		白虎軍



自分たちができることから！～熊本地震義援金募金活動に込めた生徒会の思い～

「おはようございます！熊本地震の災害支援へのご協力をよろしくお願いします！」と、登校してくる生徒たちに明るく、そして真剣に呼びかける声が響いていました。

十中生徒会本部では、被災地のために自分たちで今できることは何かを話し合い、募金活動を行うことを計画しました。毎朝の登校時間を利用した生徒玄関での呼びかけに加え、先日行われた体育祭会場でも保護者の皆様や地域の方々に支援を訴えました。

その結果、多くの生徒、教職員、そして保護者の皆様や地域の方々から、温かいご賛同と真心込めた募金を寄せることができました。24日（木）、生徒会長と副会長が、十日町市社会福祉協議会に集まった支援金 **¥16,416** を届けました。日本赤十字社を通じ被災地へ届けられます。

今回の活動を通して、生徒会本部の主体的な行動力はもちろんのこと、十中全体に広がる「誰かを思いやる温かい心」が改めて示されました。



活躍する十中生



【郡市発明工夫展・模型展・生物標本展】

☆発明工夫の部

入 選 「ふうじこめスプレー」 1年 女子（県大会へ出品）

☆模型の部

魚沼農業協同組合経営管理委員会会長賞

「エッフェル塔」 1年 女子（県大会へ出品）

奨励賞 「変わる海, 変わる未来」 1年 女子（県大会へ出品）

奨励賞 「くっ！！」 1年 男子（県大会へ出品）

☆観察記録の部

入 選 「果物から酵母をつくってみよう！」 1年 女子

奨励賞 「雲の観察記録」 3年 女子

